



一般社団法人 福山市歯科医師会附属

専門学校 福山歯科衛生士学校



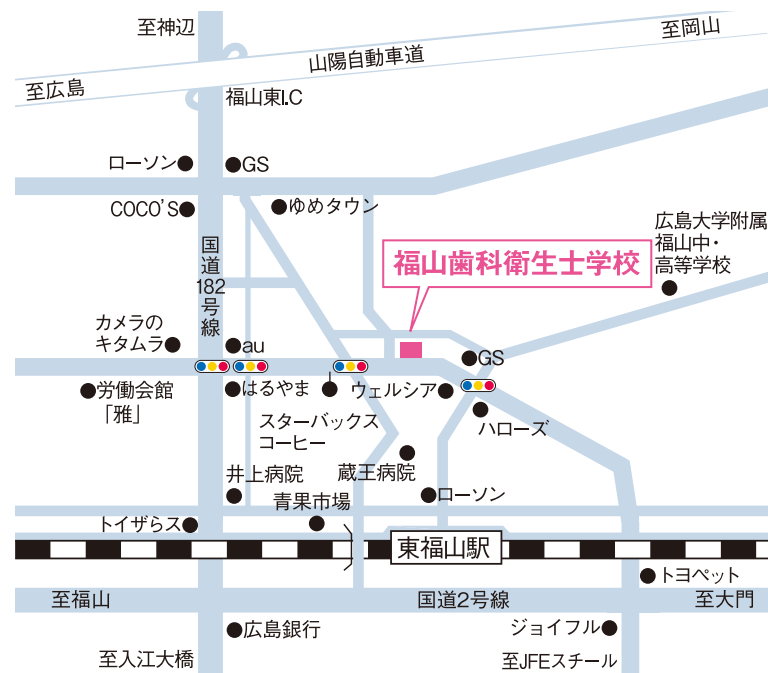
〒721-0973 福山市南蔵王町六丁目19番34号
TEL.084-941-4443 (代) FAX.084-941-4190

ホームページ
<https://www.fdhc.ac.jp>

携帯電話から
簡単アクセス



Instagram
@FDHC4443



ACCESS 【電車で】 JR東福山駅下車 徒歩10分
【バスで】 中国バス福山駅前～鋼管町・鋼管病院行き
(緑ヶ丘経由) 緑ヶ丘下車 徒歩1分

姉妹校



広島高等歯科衛生士専門学校

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目2-4 広島県歯科医師会館3階
TEL 082-261-1765 FAX 082-261-1776
www.hdhc.ac.jp



素敵な笑顔を贈りたい

FUKUYAMA DENTAL HYGIENIST COLLEGE

学校案内 2024



福山歯科衛生士学校

未来へつながる最先端歯科医療を学び 実力ある歯科衛生士を養成します

福山市歯科医師会の附属校であり、市内で開業されている歯科医師（会員）による現場に即した内容の講義・実習を受けることができ、卒業後も即戦力として、確かな技術と豊富な知識で、患者さん一人ひとりの気持ちに応える歯科医療のスペシャリストを育てるため、本校では、教育方針に基づき、優れた人格・見識をもった有能な歯科衛生士を養成しています。

豊富な講師陣による3年間の教育により、歯科衛生士としての専門知識はもとより、社会人としての幅広い教養と豊かな人格の形成を図ることを目指しています。



教育方針

いかなる立場にあっても、職務を全うできる歯科衛生士の養成。

- 歯科診療の場で、診療補助業務が十分にできる能力。
- 公衆歯科衛生の場において、現場活動が十分にできる能力。
- 口腔衛生実技に熟達し、その技量を十分に発揮し責任を全うできる能力。
- 常に医療人としての論理に基づいた行動ができる能力。
- 臨床の場で、患者に対し歯科保健指導が十分にできる能力。

校長からのメッセージ



校長
横山 晴洋

本校は昭和47年に福山市歯科医師会によって設立された、広島県東部唯一の歯科衛生士養成機関です。創立以降2,308名の卒業生が、県内はもとより全国各地で歯科衛生士として活躍しています。健康寿命の延伸のために、歯と口の健康はますます重要視されています。一生続けられる素晴らしい仕事、歯科衛生士国家資格に是非挑戦してください。

沿革

- 昭和46年10月 社団法人福山市歯科医師会より福山歯科衛生士学院を設立
- 昭和47年 2月 厚生大臣より指定を受け、各種学校県知事認可を受ける
- 昭和47年 4月 福山歯科衛生士学院（1年制）として福山市御門町に開校
- 昭和55年 4月 福山市南蔵王町（現住所）へ移転
- 昭和56年 4月 福山歯科衛生士専門学校（2年制）として専修学校に昇格
- 平成18年 4月 専門学校福山歯科衛生士学校に改称 修業年数を3年制に変更
- 令和元年 9月 高等教育の修学支援新制度の対象校に認定

ますます重要になってくる歯科衛生士の仕事

歯科予防処置



「フッ化物塗布」等の薬物塗布や深い溝に充填をして虫歯を予防したり、歯垢や歯石を除去する「機械的歯面清掃」などの歯科予防処置を行います。



歯科保健指導



保健所や小学校で歯磨き指導をしたり、福祉施設を訪問して口腔ケアを行うなど患者さんの歯の健康全般を考えます。幼児から高齢者までの各ライフステージにおいて、適切な健康づくりを行うため、歯磨き指導やセルフケアのスキルアップを専門的に支援する大切な仕事です。口腔の健康を保つことが健康で質の高い生活を営むうえで重要です。



歯科診療補助



診療が安全に行われるように、歯科医師が円滑に治療するための介助をしたり、直接患者さんに接して診療をサポートします。歯科診療を円滑に行うため歯科医師の診療を補助します。また歯科医師と患者さんとのコミュニケーションや信頼関係を構築するためにサポートする役割もあります。



1年生 カリキュラム

専門科目を学ぶ前に、歯科医療の基礎知識をしっかり身につけるため、人体の構造、機能から歯の役割、疾病まで幅広い分野を学び、歯科医療に関する総合的な基本知識・技術とともに、女性としての心構えも同時に身につけます。



歯科に関する基礎知識を学び、学内での基礎実習を行います。

1年次

基礎分野

社会学 哲学
心理学 食生活概論
生物学 保健体育
化学 情報科学
英語 現代マナー(接遇)

専門基礎分野

解剖学 歯の解剖 微生物学 公衆衛生学
生理学 口腔生理学 隣接医学 歯科衛生統計学
生化学 病理学 口腔衛生学 衛生行政・社会福祉
口腔解剖学 口腔病理学 衛生学
歯牙解剖学 薬理学 栄養学

専門分野

歯科衛生士概論 保存修復学 口腔外科学 齲蝕予防処置 歯科診療補助
倫理学 歯科材料学 小児歯科学 予防的歯石除去法 歯科診療補助実習
歯科臨床概論 歯内療法学 歯科矯正学 予防的歯石除去法実習 看護学
臨床検査 歯周療法学 障がい者歯科学 歯科保健指導 医療保険事務
歯科放射線学 歯科補綴学 高齢者歯科学 歯科保健指導実習 臨床実習

選択必須分野

手話 歯科総合
介護技術 生花
院内感染・一般教養
救急処置
社会保険

3年次

国家試験

歯科衛生士

就職

1年生基礎分野

専門科目を学ぶ前に、医療に必要な基礎を学びます。

[基礎分野] 歯科衛生士に必要な基礎科目、臨床に必要な語学として、英語を学びます。医療機器の仕組みや、最新鋭のOA機器の使用について学ぶ情報科学。また、専門科目を学ぶ前に、化学・生物学について、医療に必要な基礎を学びます。歯科衛生士としての社会的な関わり方を学ぶ、社会学もあります。

[教養科目] 教養科目としては、患者さんに接するために必要な、心理学や手話などについて学びます。また、女性らしさに磨きをかけるために、人との接し方について学ぶ接遇や、心をより豊かにする、生花についても学びます。歯科衛生士としての知識と臨床における技術の習得だけでなく、社会人としての幅広い教養と女性としての豊かな人格について学びます。

1年生専門基礎分野

医療分野のスタート。
歯科衛生士の基礎知識を養います。

医療に必要な専門的な教科のスタートです。歯科衛生士として必要な、人体や口腔の発生・構造と機能、その生態系について学びます。また、疾病の成り立ちや、関係する細菌について、その治療法と、必要な薬品、医療機器についても学びます。歯と口腔の健康と予防について、人と社会との関わりについても学びます。歯科医療について幅広い専門知識を習得します。



就職サポート

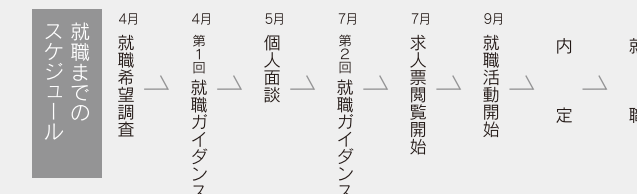
国家試験合格を目指し、一人ひとりに合った指導方法でサポートします。

歯科衛生士として社会で働くためには毎年3月に行われる歯科衛生士国家試験に合格することが必要です。本校ではその試験に学生全員が合格するため国家試験対策を重視しています。2年生後期より3年生にかけて校内模試、全国模試等を随時実施し学生一人ひとりの学力を把握して指導していきます。その他にも医歯薬研修協会講座等による特別講義の受講や、国家試験直前まで本校講師陣による対策講義を行い学生が自信を持って国家試験に臨めるようにしています。



就職率100%を達成しています。

本校は福山市歯科医師会附属の学校ということもあり福山市内会員歯科医院はもちろんのこと、県内外の歯科医院、各地域の総合病院等幅広い求人があります。また本校には専属の就職指導担当者が、早期の段階から求人情報の確保に努めていますので高い就職率につながっています。就職指導担当者は学生の学力や性格を知った上で、的確なアドバイスを行い学生一人ひとりの希望する地域や条件と照らし合わせながら、最適な就職先を探しますので安心です。



2年生 カリキュラム

1年次に学んだことをベースに臨床で必要とされる知識を深め、応用力や専門性を高めます。
歯科医院や病院など実際の現場で学ぶ現場実習や「臨床・臨地実習」もチャレンジします。



歯科の専門分野についてより深く学習し、臨床実習を行います。

2年生専門分野

歯科衛生士の三大業務としての、**歯科予防処置**、**歯科保健指導**、**歯科診療補助**をはじめ、臨床で必要とされる知識を養います。

専門分野は、臨床歯科医学と口腔保健学とに大別されます。臨床歯科医学は、歯科の医療現場で実際行われている様々な症例について学びます。
また、歯科衛生士としての重要な役割である**歯科診療補助**、**歯科予防処置**もここで、学びます。
口腔保健学は、口腔の健康増進に対する取り組みを学びます。**歯科保健指導**もここで学びます。その他、近年ますます必要とされてきている**介護技術**、**医療保険事務**なども学びます。



歯科診療補助実習

歯科衛生士の三大業務

歯科診療補助



歯科保健指導



歯科予防処置



2年生実習

これまで学んだ知識を基に臨床で技術を構築します。

実習は、**模型実習**、**相互実習**、**臨地実習**と段階を経て進んでいきます。
模型実習はマネキンや歯牙模型等を使用して行います。模型を使用して、正確な技術、器具の操作等を学びます。
相互実習では、それぞれ、術者役、アシスタント役、患者役を交代しながら一つの症例を実習していきます。マネキン実習で習得した正確な

技術を基に、実際に口腔内で体験することにより、より正確な技術へと向上させます。
また、チームで実習することによって診療の流れを把握でき、それぞれを体験することによって思いやりのある歯科衛生士となります。この後、**臨地実習**へと進んでいきます。

実習の進行

マネキン実習



相互実習



臨地実習



3年生 カリキュラム

臨床実習を中心に学習し、これからの高齢社会にも対応できるよう介護・福祉分野についても学習します。

国家試験合格に向けて、国家試験対策もいよいよ本格化。模擬試験や個別指導を通して弱点を克服し、「国家試験合格」を目指します。



歯科衛生士としての即戦力となる高度な技術を習得します。

3年生専門分野

高度な知識の完成を目指します。

歯科診療は様々な専門知識を複合させて行われます。歯牙、口腔、顎顔面、頭頸部、全身の状態を総合的に判断する力をつけていきます。また、同じ疾患でも乳幼児と老人では対処が違います。

一つの疾患だけでなく、数種の疾患から症状が生じていることもあります。

歯科衛生士として臨床に望むには、総合的な専門知識を必要とされ、これらを応用する力をつけていきます。こうして臨地実習に進んでいきます。臨地実習には下記のものがあります。

これらの専門知識を基に臨床経験を重ねることによって有能な歯科衛生士を目指します。



幼稚園実習

◎ 臨地実習先

一般歯科医院・矯正歯科医院での臨地実習 幼稚園実習
障がい者施設実習 口腔保健センター実習 小学校実習 高齢者施設実習
広島大学病院・岡山大学病院・徳島大学・福山市民病院実習

口腔の健康を健康寿命へと つなげる歯科医療



広島大学病院
主席副院長
柿本 直也

広島大学病院は中国・四国地方を代表する病院で、全国でも有数の医科歯科連携が進んでいる病院です。大学病院には様々な専門診療科が存在し、高度専門医療を提供しています。歯科においても13の専門診療科が存在します。また、大学病院は教育研修機関でもあり、未来に輝く歯科医療人を養成しています。

超高齢化社会を形成している日本において、口腔を守ることは健康寿命につながります。その役割を担うのが歯科衛生士です。口腔は全身の入り口です。歯科衛生士は、口腔の健康、機能を維持することで世の中に貢献できる国家資格です。広島大学病院での臨床実習を通して、様々なことを経験して頂き、輝かしい未来へとつなげて頂ければ幸いです。

3年生臨地実習

臨地実習は実習医院、口腔保健センター、大学病院などで行います。

◎ 障がい者施設実習

障がい者の診療には、それぞれの人の持つ障害に対し知識と配慮を必要とされます。歯科衛生士は障害を抱える人が安心して治療を受けられるために非常に大きな役割を担います。本校では、併設の口腔保健センターでの診療を通しての実習と障がい者施設での口腔衛生への取り組みとブラッシング実習を通して豊かな配慮のできるボランティア精神を育みます。



障がい者施設実習

◎ 広島大学病院・岡山大学病院・徳島大学・福山市民病院 臨地実習

大学病院・総合病院では、一般歯科医院ではめつたに触れる事の出来ない症例に触れることが出来ます。また、広島・岡山大学病院で、チーム診療、他機関との連携で行われる歯科治療など様々なケースを経験します。さらに、大学病院は研究機関としての役割を担っており最先端や未来の歯科医療を現場で体験したり、見学することが出来ます。本校は、大学病院との密接な連携により実習を行います。



広島大学病院臨地実習

徳島大学病院 臨地実習



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全学年共通	● 健康診断 ● 特待生奨学金授与式 ● 入学式 ● 春期休業		● オープンキャンパス (第1回)	● 夏期休業 ● オープンキャンパス (第2回)	● オープンキャンパス (第3回)	● 登院式	● 推薦入試 ● 開校記念日	● 一般入試 (A日程)	● 冬期休業 ● 開校記念行事 (白蔵祭)	● 冬期休業	● 一般入試 (B日程)	● 春期休業 ● 一般入試 (C日程) ● オープンキャンパス (第4回)
1年次・2年次	● 1・2年生合同合宿 ● 1年生オリエンテーション	● 2年生登院実技試験	● 2年生DHS特別講義 ● 1・2年生合同実習		● 1・2年生前期試験 ● 2年生登院筆記試験	● 2年生大阪研修旅行 ● 高齢者施設実習 ● 2年生DHS特別講義 ● 2年生口腔保健センター・障がい者診療見学実習 ● 2年生一般歯科医院実習開始		● 2年生幼稚園実習	● 2年生徳島研修旅行 ● 2年生総合診療実習 ● 2年生矯正歯科実習開始	● 1年生後期試験 ● 1年生徳島研修旅行		
3年次	● 福山市民病院実習開始	● 岡山大学病院実習 ● 小学校実習	● 修学旅行 ● DHS特別講義 ● 総合診療実習 ● 日本医歯薬研修協会特別講義		● 就職活動開始	● 後期試験 ● 日本医歯薬研修協会特別講義 ● 総合診療実習発表会 ● 障がい者施設実習開始		● 後期試験 ● 日本医歯薬研修協会特別講義 ● DHS特別講義 ● 卒業試験	● 日本医歯薬研修協会特別講義 ● DHS特別講義	● 日本医歯薬研修協会特別講義	● 卒業式・卒業祝賀会 ● テーブルマナー ● 歯科衛生士国家試験	



福山市歯科医師会
口腔保健センター

福山歯科衛生士専門学校
昭和58年度卒業

歯科衛生士 戸室 佳子さん

私は福山歯科衛生士専門学校を卒業後、歯科医院に勤務していました。結婚後、夫の転勤を機に退職し、長いブランクを経て、現在は口腔保健センターの非常勤歯科衛生士として働いています。それとは別に、行政からの依頼を受けて、乳幼児健診、地域住民を対象とした歯科相談や「お口の健康教室」の講師もしています。大勢の人前で話すことはとても緊張し、初めはあがってしまい、失敗もありましたが、歯科の知識だけでなく、コミュニケーション力や伝える話し方等の勉強や工夫を重ねて、今では自信を持って仕事に取り組んでいます。「とても分かりやすかった」と声を掛けて頂くと、本当に嬉しくなります。これからも口腔への意識向上にスマイルを絶やさず、頑張っていきたいと思っています。



(医)すずき歯科クリニック

専門学校 福山歯科衛生士学校
平成30年度卒業

歯科衛生士 古米 由佳さん

私は幼少の頃から病院へ行く機会が多く、医療に対する興味を持っていました。そんな中、通院していた歯科医院の影響で歯科医療へ興味を沸き、福山歯科衛生士学校への入学を決めました。学生時代を振り返ると、「勉強・試験・実習」など知識や技術を身につけるためにやらなければならない事が沢山ありましたが、優しい先生方が親身になってサポートしてくださるので継続できました。また、同じ目標を持った仲間が存在が大きく、一つ一つの壁を一緒に乗り越えながら国家試験合格まで辿り着く事ができました。もちろん勉強面だけでなく、楽しい行事や修学旅行もあるので思い出づくりもできました。振り返るとあつという間の3年間でしたが毎日がとても充実していました。これからもここで学んだ事を活かして患者さんから愛される歯科衛生士を目指して日々頑張っていきます。



福山医療センター

専門学校 福山歯科衛生士学校
平成25年度卒業

歯科衛生士 山脇 真衣さん

私は福山歯科衛生士学校卒業後、小児歯科を専門とした一般歯科医院で勤務していました。その後、学生の中から興味があった病院での口腔ケアの道に進む事を決め、現在の福山医療センターに入職しました。入職当時は、右も左も分からず初めての事ばかりでしたが、そのひとつひとつが新鮮で毎日が学びの日々でした。私は今、歯科衛生士が医療を支える一員であると実感しています。歯や口腔の事だけでなく、さまざまな疾患の治療を支えるなかで「歯科衛生士は専門職である」と感じられ、医師、看護師など他職種から「口腔の事は歯科衛生士さんに相談しよう」と言ってもらえることが私の誇りです。歯科衛生士という職種が、患者さんや他職種から認められているからこそ、より知識を深め専門性を高める必要があると感じています。様々な疾患と向き合う患者さんに寄り添い、口腔健康管理をしていく中で、難しい事もたくさんありますが、一人一人の患者さんと真剣に向き合い、一緒に考え、支えていくことができ大きなやりがいと楽しさを感じています。これからも医療の中で、歯科衛生士としての誇りを持ち、一生の仕事として続けたいと思っています。



福山歯科衛生士学校

専門学校 福山歯科衛生士学校
令和元年度卒業

教員 池野 愛奈さん

私は、福山歯科衛生士学校を卒業して臨床歯科を経験した後、福山歯科衛生士学校で教員として勤めています。学生生活は、勉強・臨地実習・行事などで充実したあつという間の楽しい3年間でした。国家試験勉強は大変でしたが、学校の先生方や友達、家族の支えのなか勉強に励むことができ、3年間頑張ったことが現在の自分の自信となっています。初めての臨地実習では、歯科衛生士の活躍している現場を目の当たりにし感動しましたが、それと同時に自分にはできない事だらけで不安になりました。しかしその都度、学校で友達や先生方と一緒に何度も練習することで乗り越えることができました。苦手が得意に変わることを実感できた時は今まで練習を続けてよかったと感じました。「歯科衛生士になる」という同じ目標に向かい、一緒に勉強・練習をした46期生の仲間が存在ははとて心強く、今でも私の自慢です。現在、福山歯科衛生士学校の教員として、学生の本気に自分も答えることができるように日々学びの心を忘れず頑張っています。学生に、福山歯科衛生士学校に入學して良かったと思ってもらえるように、また、卒業してからも学生の居場所となるように、これからも支えてくれている方々に感謝を忘れず、誰からも信頼される教員を目指したいです。